



2025年12月9日

各 位

会社名 株式会社 jig.jp
代表者名 代表取締役社長 CEO 川股 将
(コード番号: 5244 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 田中 雄一郎
(TEL. 03-6824-9561)

新たな事業の開始に関するお知らせ

～日本の眼鏡産地・鯖江発、日本初のプラスチックウェイブガイド採用 AR Glass の誕生～

当社は、2025年12月9日開催の取締役会において、以下のとおり、日本初のプラスチックウェイブガイド光学技術を搭載し、鯖江の技術から初めて生まれる一般向け商用 AR Glass（注1）を提供する新事業を開始することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 事業開始の趣旨

近年、Ray-Ban Meta をはじめとするスマートグラスの普及を契機に、眼鏡型デバイス市場は世界的に普及フェーズが急速に進展し、2026年以降は AR Glass 市場の本格的な拡大が見込まれています。市場調査（注2）においても、AR Glass 市場は2025年から2035年にかけて年平均成長率19.1%で拡大し、2035年には市場規模1,153億米ドル規模へ拡大するとの予測が示されており、情報取得の主要インターフェースがスマートフォンから眼鏡型デバイスへ移行する大きな転換点にあります。

国内市場においては、①軽量性（長時間装着に耐える重量）、②ファッショナビティ（日常的に眼鏡として着用できるデザイン）、③日本語ローカライズ（UI・カスタマーサポート）、の3点全てを満たす製品が依然として存在せず、ユーザー側の潜在需要は顕在化しつつも、適切な供給者が不足している状況が続いています。こうした供給不足により、日本国内では本格的な AR Glass の競争環境がまだ形成されておらず、早期市場参入者が独自のポジションを確立できる余地があります。

こうした状況を踏まえ、当社は、国内で唯一ウェイブガイド光学技術（注3）を有する Cellid 株式会社（以下、「Cellid 社」という。）と、眼鏡産地である鯖江で高いデザイン力と製造実績を有する株式会社ボストンクラブ（以下、「ボストンクラブ社」という。）との協業体制を構築することで、「普段掛ける眼鏡の延長で使用できる日本発 AR Glass」の提供が可能と判断しております。

鯖江は世界的な眼鏡産地として、高い品質基準と卓越したデザイン力により国際的な評価と信頼を築いてきました。当社は、この鯖江に拠点を置くソフトウェア企業として、当社のソフトウェア開発力及びUX設計力に、Cellid 社が提供する国内唯一のウェイブガイド光学技術と、ボストンクラブ社の世界水準のデザイン力を掛け合わせることで、他にはない“日本発の正統派 AR Glass”を創出できる事業体と考えております。これらの強みを結集し、まずは国内市場における着実な普及を図るとともに、将来的には海外市場への展開も視野に入れ、鯖江ブランドを世界へ発信してまいります。

また、今後拡大が見込まれる AR Glass 市場において先行的なポジションを確保し、当社グループの事業ポートフォリオを次世代ウェアラブル領域へ拡張することで、持続的な成長の実現を目指してまいります。

(注1) AR Glass とは、眼鏡の形状をベースに、レンズ部に組み込まれた光学技術を用いてユーザーの視界上に情報を表示する拡張現実（AR）デバイスをいう。翻訳表示、テレプロンプト機能、通知、案内情報の提示など、日常生活における利便性の向上を目的とした用途で利用される。

(注2) Future Market Insights 社による「Augmented Reality Glasses Market Size and Share Forecast Outlook 2025 to 2035」レポートを参照。

(注3) ウェイブガイド光学技術とは、光をレンズ内部で導光させて視界内に画像やテキストを投影する仕組みであり、AR Glass における軽量・小型化や日常使用に適した表示性能を実現するための基幹技術を指す。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

本事業は、日本初のプラスチックウェイブガイド光学技術を採用した一般消費者向けの商用 AR Glass の開発・販売を行うものです。他にはないプラスチック材料を用いることで軽量性を追求し、安全配慮かつ量産化可能となっております。

また、当社のソフトウェア開発力及び UX 設計力を活かし、翻訳機能、テレプロンプト機能、通知、スケジュール表示及び生成 AI 連携など、日常生活の利便性向上を目的とした機能の開発・提供を予定しております。

(2) 当該事業を担当する部門

当社経営企画部が統括します。現時点では、具体的な人員構成や配置については検討中であります
が、事業の進展に応じて、専門人材の追加採用や体制拡充を行っていきます。

(3) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

本事業を行うに際して、初期コストとして、主に AR Glass の製造費用を中心に約 300 百万円の支
出を見込んでおります。

3. 日 程

(1) 取締役会決議日	2025年12月9日
(2) 事業開始期日	2025年12月中旬（予定） ※Cellid 社との発注に係る取引基本契約締結日をもって開始日とする

4. 主要提携先の概要

(1) Cellid 株式会社

(1) 名 称	Cellid 株式会社	
(2) 所 在 地	東京都港区六本木 4-8-6 パシフィックキャピタルプラザ 5F	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 白神 賢	
(4) 事 業 内 容	空間認識エンジンおよび AR グラス用ディスプレイの開発・販売	
(5) 資 本 金	相手先の意向により非開示とさせていただきます。	
(6) 設 立 年 月 日	2016年10月27日	
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	相手先の意向により非開示とさせていただきます。	
(8) そ の 他	<ul style="list-style-type: none">■ 広視野角を実現する独自ウェイブガイド技術（プラスチック／ガラス）と一般的なメガネと同等レベルの薄さ・軽さとデザイン性を両立した AR グラスの開発力を有する。■ ディスプレイ学会 SID 「Display Component of the Year」受賞に代表される国際的評価を得た光学コンポーネントの開発力を有する。■ AR グラス用ディスプレイモジュールと空間認識ソフトを一体で提供が可能（ハード+ソフト+ソリューション）。■ プラスチック材料を用いたフルカラー表示の量産化に向けた開発・量産体制構築力と Foxconn グループなど国内外の有力サプライチェーンとのパートナーシップを有する。■ 日本発スタートアップとして、国内外の大手企業・投資家からの出資・評価を背景にした成長ポテンシャルを有する。	
(9) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(注) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態については、相手先との協議の結果、
相手先の意向により非開示とさせていただきます。

(2) 株式会社ボストンクラブ

(1) 名 称	株式会社ボストンクラブ		
(2) 所 在 地	福井県鯖江市三六町1丁目4-31-2		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小松原 一身		
(4) 事 業 内 容	眼鏡デザインの企画／眼鏡枠の小売店への販売／眼鏡小売店の運営		
(5) 資 本 金	相手先の意向により非開示とさせていただきます。		
(6) 設 立 年 月 日	1984年8月1日		
(7) 大株主及び持株比率	相手先の意向により非開示とさせていただきます。		
(8) そ の 他	「鯖江」の確かな技術に裏付けられた最良の品質と、圧倒的なデザイン力を有する。		
(9) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

(注) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態については、相手先との協議の結果、相手先の意向により非開示とさせていただきます。

5. 今後の見通し

本件による当社の2026年3月期の連結業績に与える影響は現在精査中ですが、本格的な販売開始時期は2026年4月以降を予定しております。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上